

イエスの御心よ。 エクアドル大統領エクアドル大統領ガブリエル・ガルシア・モレノが祖国のために行った奉献を思い出し給え。祖国に汝の聖なる像をあげさせ、汝と汝の代理人である、ローマ法王へのゆるぎない、自らの忠誠心を確固たるものとするために、血を流したガブリエル大統領の奉献を思い。そして言動において影響力のある人は、宗教と祖国の大儀のために、立ち上がることができるという、そのような模範的な支配者を、聖人の位に列するという榮譽を、我らに与え給え。そして、み旨の命じるままに、我々が神に求める特別な恩寵をもたらせ給え。 アーメン

主なる神の特別な恩寵を求め、父への栄唱を唱える。

この祈りはエクアドルの司教だけでなく、コロンビア・パストの司教、チリ・サンティアゴの司教、ブラジル・サンパウロの司教、またHervé Le Lay神父の活動を通じてアルゼンチンの司教、さらにHamish Fraser氏の活動を通じてスコットランドの司教によって承認された。



1874年、ガブリエル・ガルシア・モレノ大統領の公式の奉献により、エクアドルが聖心に捧げられた。

**英雄的なキリスト教徒に殉教者の地位を与えるために、教会が求める条件は何ですか？**

教会法上の条件は3つあります。ひとつは、神が奇跡によって防いだのではない限り、犠牲者の死を現実に、自ら進んで受け入れること、二つめは、死が専制君主や犯罪者によって不当にもたらされたこと、三つ目は神、教会、真正な宗教、またはキリスト教の価値や教会の権利や特権に対する憎しみの犠牲になったことです。

**ガルシア・モレノの死の場合、それらの条件は証明されているのですか？**

ガルシア・モレノは、彼らが自分を犠牲者として殺そうとしていることをよくわかっていました。そしてその犠牲となるための準備をしていました。「神と教会の敵は自分を殺すことはできるが、神は死なない。私は暗殺されてもかまわない、信仰のためなら喜んで死ぬ」と述べています。

**ガルシア・モレノを殺したのは誰ですか？**

フリーメーソンのロッジ（秘密結社のメンバー）と他のカトリックの敵に殺されたことはほぼ間違いはありません。

**なぜ彼らはガルシア・モレノを殺したのですか？**

なぜなら、彼らはガルシア・モレノの中にカトリック信者として模範的な支配者を見出したからです。

**教皇ピウス9世と教皇レオ13世は、ガルシア・モレノの死をどのように評価していますか？**

教皇ピウス9世は、「ガルシア・モレノは、自らの信仰とキリスト教徒にふさわしい寛容さの犠牲者として、キリスト暗殺者の刃に倒れた」と語り、教皇レオ13世は、「教会のために、邪悪な者の刃に倒れた」と述べています。

**それは、ガルシア・モレノには何の欠点も落ち度もなかったということの意味するのですか？**

そうではありません。偉大な聖人でさえ欠点があります。だからこそ、彼らは罪の償いをするのです。

**殉教者はどのようにして罪を洗い清めるのですか？**  
神に対する愛のために血を流すことです。そうすることによって完全に清められ、すぐに天国に行くことができるのです。

**ガルシア・モレノを憎んでいる人はまだいるのですか？**

フリーメーソンの結社員や社会主義者、教会や祖国の敵、また英雄とは何かを知らない偏見に満ちた、悪い影響を受けたカトリック教徒です。

**ガルシア・モレノを心から尊敬し、敬愛している人はいますか？**

すべてのカトリック教徒やエクアドルの善良な人々、また、ごく一部の人々を除いて、エクアドル国外でも多くのよき人々に尊敬されています。

**ガルシア・モレノの肖像や聖物を活用することによって、ガルシア・モレノのとりなしにより、神の恵みを請い、奇跡を求めることはできますか？**

できますが、それはこころの中で行わなければなりません。神の恵みや奇跡を得ることができたら、その結果について教会の権威に詳しく報告することは望ましいと思います。神はこのようにして、よく自らのしもべを賛美するのです。

*Father Ricardo Vásquez S. J.*